

本実証実験におけるシステム構成(案)

別紙1

大部分をオープンソースで構築
クラウド上で共同運用

市民サポーター

市民レポーター



レポート

市民の声を積極的に収集

ステータス更新

MyCityReport
Webサイト
(スマートフォン用)



MyCityReport業務管理システム
(CRM機能を備えた管理画面)

行政内での状況
確認と修繕等

行政内関連部局

公開

市民による「困ったレポート」
(一部自治体は、かいけつレポート、
テーマ型レポートも実施)への投稿を通じた参加



MyCityReport
Webサイト
(スマートフォン用)

市民で課題を共有

①プロジェクト全体のトップページ

<https://www.mycityreport.jp>



お

②各市区のサイトを選択

あなたのまちのサイトを見る

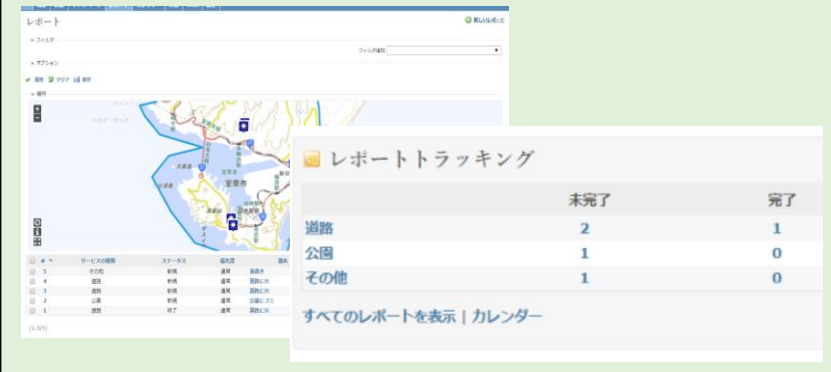


③スマートフォン向け画面



- ・市民がスマートフォン用ブラウザを介して、テキスト、位置情報、画像により町の不具合などを投稿
- ・投稿内容(公開状態のもの)の確認

④自治体側管理画面



- ・自治体ごとに管理画面上で投稿情報の管理
- ・地図上での投稿場所等の確認
- ・フィルタやトラッキング機能による進捗管理

- ・投稿内容の公開設定
- ・自治体内での部局対応
- ・投稿内容に対する返答

⑤投稿状況地図



MyCityReportの開発計画

機能名	2017年度 上半期	2017年度 9月以降～	2018年度中
ユーザー登録・管理機能	○		
地域課題登録・管理機能	○		
市民協働案件登録・管理機能	○	※(一部改修予定)	
テーマレポート登録・管理機能	○	※(一部改修予定)	
業務管理機能	—	○(共通部分)	※(一部改修予定)
帳票作成機能	—	○(共通部分)	※(一部改修予定)
外部連携機能(Open311等)	—	○	
その他機能(共通部分)	—	○	※(一部改修予定)

※機械学習・IoT技術を用いた現場の知の共有機能、行政リソースの最適配分機能については別途開発中で、今年度は市民参加型による実証実験の内容には含まれません。